

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	市民環境課(交通市民生活担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	落石会館整備事業	事業番号	12601

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-1	コミュニティ活動の活性化
	施策目標	多様な地域コミュニティ組織が連携し共助の力を発揮するまち	

2 事務事業の目的

目的	既存の落石会館は昭和50年度に建設しているが、老朽化が著しいことや耐震改修が困難であることから、現敷地内において現在も併設している落石へき地保育所と一体的に新築建替えをし、落石地区のコミュニティ活動の拠点施設として利活用を図るほか、災害発生時には避難所としての機能も兼備した施設として整備する。
成果	高齢者等に配慮した新しい落石会館の建設により、既存の利用者の利便性が高まると同時に、保育所との一体的な整備により高齢者と子どもたちや保護者との世代間交流による相乗効果も期待され、落石地区の地域コミュニティの維持活性化につながる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費			20,739	276,273	28,688		325,700
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債		16,400	276,200			292,600
		その他						
		一般財源		4,339	73	28,688		33,100
人員(人工)			1	1	1			
職員費(人員×8,081千円)			8,081	8,081	8,081		24,243	
総事業費			28,820	284,354	36,769		349,943	
維持管理	管理主体		根室市					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費				3,150	3,150	6,300
		概算人件費						
		合計/年				3,150	3,150	6,300

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	落石会館利用日数	60日	120日	120日

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	落石地区コミュニティの活性化が期待される。
-------------------	-----------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 新築建替えに当たり、地域住民から多くの期待が寄せられている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 元々、地域会館は市有の公共施設であり、地域コミュニティの活性化に対し、責任を持つ他の団体等は存在しない。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 市の避難所に指定されているが耐震性を有しないことから、一刻も早く耐震性を有する状態にする必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 必要な手続きに従い、適切に事務を執り進めている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 地域会館のうち最も古い建物であり、建替え順序として妥当と考える。地域間で不公平はない。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 落石地区コミュニティの活性化のため極めて有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 地域住民の理解を得ながら、速やかに事業を進められたい。なお、施設完成後は、地域活動の拠点施設として、その役割と機能が十分発揮できるよう管理運営されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画通り事業を推進する。

作成年度

平成28年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合政策室(総合政策担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	ふるさと根室市民活動情報発信事業	事業番号	12198

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-1	コミュニティ活動の活性化
	施策目標	多様な地域コミュニティ組織が連携し共助の力を発揮するまち	

2 事務事業の目的

目的	行政と市民がそれぞれの役割のもと、情報を共有し、協働のまちづくりを進めるために市民や転入者などに対し、市内における様々な市民活動を広く紹介することで、市民活動への参加機会の拡充を図る。
成果	多くの市民に様々な市民活動の情報を提供し、市民活動への参加を促すことにより、市民活動の活性化と生き活きとした市民生活の推進を図ることによって、活気に溢れる地域コミュニティ活動の促進が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
		27	・市民活動情報の周知(ふるさと根室市民活動情報ガイドブック配布)				
	28	・ふるさと根室市民活動情報ガイドブックの作成 ・市民活動情報の周知(ふるさと根室市民活動情報ガイドブック配布)					
	29						
	30	・ふるさと根室市民活動情報ガイドブックの作成 ・市民活動情報の周知(ふるさと根室市民活動情報ガイドブック配布)					
	31						

事業費と内訳	(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費			908		908	
内訳	国庫支出金						
	道支出金						
	地方債						
	その他		908		908		1,816
	一般財源						
人員(人工)			0.01		0.01		
職員費(人員×8,081千円)			81		81		162
総事業費			989		989		1,978

維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ふるさと根室市民活動情報ガイドブックに掲載する団体	114団体	130団体	150団体
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市内で活動する市民活動団体の情報を市民に提供することにより、市民活動を活性化させ、地域コミュニティの活動促進を図り、地域づくりに参加しやすい仕組みを構築する。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 掲載している市民団体の会員募集など市民団体による周知媒体として、また、参加を希望する市民が団体を 知るきっかけとなる媒体としてもニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 様々な市民活動団体を市民に広く周知する目的から、市が実施するべき。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業内容・目的から緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ガイドブックの配布及び市ホームページで周知しており、現状は妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 掲載を希望する団体を掲載しており、随時募集していることから、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない スポーツや文化など地域に根ざす団体の活動を活性化することで、市民が豊かで活力ある生活を送ること できることから、本事業の有効性は高いと考える。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 まちづくりの基本である市民活動の活性化を図るため、あらゆる媒体による周知を検討し、市民団体の活動を支援されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 地域に根ざす市民団体活動の活発化はまちづくりの基礎となることから、引き続き周知に努めるとともに周知方法についても随時検討し実施する。

作成年度

平成28年度